



平成 28 年 5 月 10 日

各位

会社名 株式会社ニチレイ  
代表者名 代表取締役社長 大谷 邦夫  
(コード：2871、東証第一部)

### ニチレイグループ 2016 年度-2018 年度中期経営計画「POWER UP 2018」

株式会社ニチレイ（代表取締役社長：大谷邦夫）は、2016 年度から 2018 年度までの 3 年間を対象期間とするグループ中期経営計画「POWER UP 2018」を策定しました。本計画では、主力事業の更なる強化を進め、厳しい経営環境下においても着実な成長を確かなものとすることを目指します。

#### I. 前中期経営計画（2013 年度～2015 年度）の振り返り

前中期経営計画「RISING 2015」では、加工食品事業における国内生産体制の拡充や低温物流事業における大都市圏での新設拠点の稼働など、主力事業を中心に設備投資を着実に実施しながら環境変化への対応を進め、2015 年度は当初の連結目標数値を上回る成果をあげることができました。一方で、加工食品事業においては、為替相場や原料価格の変動などに左右されにくい収益構造の実現に課題を残しました。

<前中期経営計画最終年度（2015 年度）のグループ連結業績>

	実績 (2015 年度)	増減 (対 2012 年度)	増減 (対計画)
売上高*	5,353 億円	876 億円	441 億円
内 海外売上高	755 億円	391 億円	175 億円
営業利益	215 億円	36 億円	11 億円
経常利益	213 億円	41 億円	16 億円
純利益	134 億円	36 億円	14 億円

\*売上計上基準変更後

#### II. 2016 年度-2018 年度中期経営計画「POWER UP 2018」の概要

##### 1. 全体戦略

世界経済の不安定性が増すなか、為替相場やエネルギー資源価格の変動が続くことが想定されます。国内では、人口動態の変化により労働力不足が深刻化する一方で、世帯構成などの変化をもたらす消費形態の多様化が見込まれます。

本計画では、経営環境の変化を確実にとらえ、事業の展開を通じて社会的な課題の解決に貢献しつつ、安定的かつ着実な成長を目指します。前計画に引き続き加工食品事業と低温物流事業を中心に設備投資を実施し、グループの成長基盤を強化することで企業価値の向上を図ります。

- (1) 持続的な利益成長と資本効率の向上を確かなものとする。
- (2) 海外事業は引き続き規模拡大を追求する。
- (3) グループ全体の品質保証力のさらなる向上を図る。
- (4) コーポレートガバナンスなど ESG 関連の取り組みを引き続き強化する。
- (5) 多様な人材の活躍推進に注力する。

<グループ連結の目標数値>

	目標 (2018年度)	増減 (対2015年度)
売上高	5,600億円	246億円
内 海外売上高	819億円	63億円
営業利益	236億円	20億円
純利益	147億円	12億円

3ヵ年の設備投資総額（リース含む） 868億円

2. 財務戦略

営業キャッシュフローと資産流動化などによる資金を、成長と事業基盤強化のための投資、および配当や自己株式の取得を通じた株主還元に向けます。

株主還元については、連結自己資本配当率（DOE）に基づく安定的な配当の継続を重視するとともに、資本効率などを考慮のうえ自己株式の取得を機動的に実施することを基本方針とします。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連結自己資本当期純利益率（ROE）は8%以上を維持</li> <li>・ DOEは2.5%を目標とし、安定的な配当を継続</li> <li>・ 20百万株程度（発行済株式総数の約7%）の自己株式取得を検討*</li> </ul> |
|---|

\*2016年10月1日に予定している株式併合前の株式数に基づいております。また、2016年3月より一部先行して自己株式を取得しております。

3. セグメント別の事業計画

(1) 加工食品事業（ニチレイフーズグループ）

- ・ 国内生産体制の最適化により資産効率と採算性を向上
- ・ 消費形態の多様化に対応した商品開発と営業活動を推進
- ・ 海外は北米を中心に事業規模を拡大

(2) 水産・畜産事業（ニチレイフレッシュグループ）

- ・ 差別化商材と最適な加工度での商品提供を軸に安定的な収益体制を構築

(3) 低温物流事業（ニチレイロジグループ）

- ・ 物流ネットワーク事業の規模を拡大
- ・ 大都市圏の主要保管拠点と地方での運送機能の最大活用による収益拡大
- ・ 海外は欧州を中心に事業基盤を拡大

(4) バイオサイエンス事業（ニチレイバイオサイエンス）

- ・ がんの診断を対象とした分子診断薬事業の展開を加速

<2018年度 セグメント別売上高・営業利益>

	売上高	営業利益
加工食品	2,080億円	90億円
水産	750億円	8億円
畜産	850億円	8億円
低温物流	2,030億円	110億円
不動産	45億円	20億円
その他	61億円	6億円
全社・消去	△216億円	△6億円
合計	5,600億円	236億円

III. 本件のお問い合わせ先

株式会社ニチレイ 広報部 03-3248-2235

詳細につきましては、「新中期経営計画「POWER UP 2018」説明会資料」をご参照ください。

以上